

三原

みはらプリン

地域グルメを広くPR

三原商工会議所（広島県）、市、DMOなどで組織する「広島みはらプリンプロジェクト実行委員会」はこのほど、地元食材を使用し、三原を応援する店（人）が提供するご当地プリンとして売り出し中の「広島みはらプリン」をPRする「応援CMを公開した。現在、一般的な「デザートプリン」のほか、総菜系の「デリカプリン」も含む50品を認定。CMでは、新たなご当地グルメとして認知度向上を目指し、三原のまちや食材への思いを表現し、店舗が開発したオリジナルプリンの魅力を伝えている。



市内ソフトボールチームがCM出演しプリンをPR



認定された数々のユニークなプリン

昨年10月に始動したプロジェクトでは、今年2月に第1回認定式を実施。その後も随時追加認定を行うとともに、これまで、広島空



8月5日からJR三原駅コンコースでも販売開始

「お菓子工房ゴドロー農家プリン」の3本で、4月に5本配信したものの第2弾。市内のソフトボールチームや親子、園児たちがそれぞれのみはらプリンをPRし

港、サービスエリア、市内の公園やショッピングモール、三原駅前などで販売・PR活動に力を入れてきた。8月12日には、新たにデリカプリン「三原玉ねぎのフレンチプリン」を認定し、広島みはらプリンは現在30店舗50品。続々開発される各店のユニークで見た目もかわいいプリンが話題を呼んでいる。今回配信されたCMは、「四季 ふおーしーずん」『きれいな大人の酒粕豆乳ぷりん』「ケーキハウス シャンポール」『広島みはらプリンパフェ』

ている。CMは、専用サイト内に掲載されている市の公式YouTubeチャンネルから視聴可能。サイトでは、各店舗自慢のプリンを紹介しているほか、新たな認定商品も随時募集している。詳細は、QRコードを参照。

